**行事報告書（研修）**

報告者：華崎律子

|  |  |
| --- | --- |
| 行事名 | 甲山森林公園・研修会 |
| 実施日時 | 平成29年12月7日（木曜日）10時～14時30分　　快晴 |
| 場所 | 甲山森林公園～南入口から軽登山道～北入口～シンボルゾーン |
| テーマ | 甲山森林公園　「果実」を中心に初冬の樹木の生き様の観察 |
| 講師 | 児玉勝久講師 |
| 参加者数 | 33名 |
| 内容（項目と概要） | 　児玉講師よりカシグルミの堅果、ジャカランダの扁平な朔果、日笠会員が琵琶湖岸で採取されたオニビシ、ヒメビシの黒い果実（トゲあり）、タマミズキ（モチノキ科）の赤い小さい核果の集合、干し柿の味がするムクノキの黒い核果の紹介があった後観察に出発した。　広場でセンニンソウの長い毛をもったそう果、イヌツゲの黒紫色の核果や虫こぶを観察。タチバナモドキの橙色の果実を見て果実に残る萼片の跡がバラ科の特徴と知った。　南入口から軽登山道の観察に入った。ちょうどハゼノキが美しく真っ赤から橙色に紅葉していた。アカマツが温暖化や共生している菌が弱っていることの影響により年々松かさが小さくなり、種子の数も減っているという話があった。ハゼノキの赤やコナラなどの黄色が映えて美しい甲山を見ながら昼食のあと、花島会員の難読地名や名字のクイズ、相変わらず全問正解はいなかった。帰りに仏性ヶ原の新しい立札が立てられた大坂城再構築用石材採取跡の巨岩を見た。**観察した果実**カナメモチ（赤）、ヒメヤシャブシ（堅果　翼あり）ソヨゴ（赤、果柄に突起あり）、ヒサカキ（液果、黒紫色、インクの木）、ノイバラ（赤）、ヒメユズリハ（核果、藍黒色）、ネズミモチ（紫黒色）クロバイ（楕円形、まだ緑色）、カマツカ（赤、ナシ状果）、ラクウショウ（球果）、イボタノキ（紫黒色）、トウネズミモチ（黒紫色）、アオツヅラフジ（核果、種子がアンモナイトに似る）、イヌシデ（堅果、風媒花）センダン（核果、黄褐色）、ウラジロノキ（赤，ナシ状果）、ヌルデ（核果、リンゴ酸カルシウムを含む）、サルトリイバラ（液果、酸っぱい？）サルスベリ（朔果、翼あり）**観察した冬芽**ネジキ（3大美芽、1年枝が赤い）、サクラバハンノキ（雄花花序、雌花，葉芽の順）マルバアオダモ（青色を帯びる）、ハリエンジュ（トゲは托葉の変化形，陰芽、コウモリ）ザイフリボク（３大美芽、赤色に白い毛がある） |
| まとめ感想 | 紅葉、果実、そして冬芽の観察ができた。ヒメユズリハの大木、クロバイの実、ハクモクレンの冬芽を守る何枚もの鱗芽が印象的だった。 |